

問 親海湿原歩道擬木化が、平成30年度までの長期整備計画の理由は。

答 財政的な面から事業費を年間750万円で、約50m位の整備しかできないため、平成30年度までの計画となっている。

建設課

落倉、森上、八方口の継続事業、舗装新設、舗装修繕などで1億2063万5千円、橋梁長寿命化計画に基づき、楠川橋、やちはら橋等の橋梁修繕、村道0105号線オリピック道路の舗装修繕として1億3463万円など。

問 道路新設改良費の村単独事業の箇所と事業採択基準は。

答 落倉水芭蕉通り、八方口歩道新設、森上・新田線の改良、蔵平の舗装修繕、白馬町栗田線の維持補修、飯田大上手線の村道改良、八方名木山線、みそら野白馬美術館前の排水対策、事業の採択基準は、道路改良、舗装修繕選定基準により費用対効果、必

要性、緊急性、生活弱者対策等の項目による点数制で選定。

教育委員会、教育課

学校環境整備事業に5072万1千円、教育相談事業に410万8千円、伝統的建造物群保存事業の改修工事で1799万7千円など。

問 図書館建設に向けて検討委員会等の立ち上げは。

答 図書館検討委員会での検討をしている段階であり、先進的な図書館に視察研修をしたい。

問 生活保護水準が下がったことによる準要保護認定に係る基準額の扱いは。

答 基準額の1.2倍とし、所得判定を行い対象外となる可能性もあるが、概算により計上。

教育委員会、スポーツ課

ジャンプ競技場スタートタワー内オリピック記念館の設置改修工事費に1200万円、世界水準を目指した観光

施設として、スノーハープの改修工事に約1億円が計上。

問 白馬高校生支援補助金の内容は。

答 県外等から入学する生徒に対し、白馬村および小谷村で1名にそれぞれ月額2万円ずつを補助するもので、5名分を予算化。何とか定員増に結び付け、特色ある地域高校として存続させるための対策である。

問 スタートタワー改修工事内容は。

答 1階エレベーターホールに装飾をし、2階と3階の中間階に展示、床、壁、電気等改修予定。

問 スノーハープローラースキーコースの整備後の利用計画は。

答 村内中学生、高校生がすぐにでも利用したいとのことで、また合宿ではスノーハープというネームバリューのある場所でローラースキーができるのであれば来たいという方も多い。スノーハープへの輸送については、滞在型プログラムとして観光と連携していきたい。

●オリンピック記念館について

意見 プロポーサル方式なので、費用はかなり圧縮できるのではないかと。

意見 エレベーターが更新の時期に来ており、それを加味した工夫や時期を選ぶ必要があるのでは。

意見 この予算を認めるとすれば、付帯決議が必要と思う。

●スノーハープ事業について

意見 世界水準の滞在型としてこの事業が適しているかどうか。

意見 スノーハープのローラースキーコースについては、事業実施のための計画根拠が曖昧であり、「世界水準の滞在型」を実現するのに適した事業は、他にあるのではないかと。

意見 付帯決議が必要と思う。

●観光局の負担金について

意見 現実に観光局長を公募しているのに予算が計上されず、決定になってから補正で対応するという財政運営は理解できない。

意見 観光局の自律性はあるが、負担金は実質、一般会計

と同じであり、同様の扱いをすべきである。

意見 付帯決議が必要と思う。

反対討論

○スノーハープ、オリンピック記念館、観光局負担金等、様々な問題を抱えた予算であるので、反対する。

賛成討論

○問題を抱えていることは認めるが、予算案を否決するものではない。執行の上で注意すべき。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

付帯決議 スノーハープ、オリンピック記念館、観光局負担金について付帯決議を付け、さらに役場全体の責務について記述する。

●議案第22号平成26年度一般会計予算に対する付帯決議(案)について採決。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第23号 平成26年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算

歳入歳出の予算総額は、